

志田雄一郎

区議会レポート

2022 新春



高野ちほ
地蔵さん

2022

編集・発行:立憲民主党・無所属クラブ
住所:新宿区歌舞伎町1-4-1 電話:03-5273-3555

立憲民主党・無所属クラブは志田雄一郎、久保広介、小野裕次郎、田中ゆきえの4名で結成された会派です。

(しだ・ゆういちろう) 1967(昭和42)年新宿区生まれ。三栄町保育園、四谷四小、四谷一中、東京学園高校卒。予算特別委員長、決算特別委員長などを歴任。現在、総務区民委員会委員、オリンピック・パラリンピック文化観光等特別委員会委員などをつとめる。

【主な内容】年頭所感 / 決算と予算要望 / 第4回定例会の質疑 / コロナ相談先一覧

年頭所感 with コロナ時代の一步先を行く

コロナを乗り越え 希望に満ちた明るい年に



あけましておめでとうございます。

コロナの感染状況が落ち着いて、街や飲食店に少しずつ賑わいが戻ってきた矢先に、新たな変異株オミクロンが日本でも確認されました。今年も感染症との戦いが続くことと思いますが、スムーズなワクチン接種の実施など、なんとしても感染の再拡大を防止するために、あらゆる対策を講じなければなりません。

世界的にみると日本の感染者数は抑えられています。ワクチンの接種率が高いからだとか、島国であるがゆえ水際対策が功を奏しているだとか、はたまた日本人はマナーが良いからだ、などという話まで広がっています。いずれにせよ、原因が判明するにはまだ先になりそうですが、ひとつ言えるのは、公衆衛生に関しては世界最高水準である点です。高温多湿の日本では清潔でない生きていけません。その結果が、

現在の公衆衛生環境につながっています。上下水道やごみ処理から食品衛生まで、医療とは無関係のように見えて、実は清潔な生活を維持できるありとあらゆる仕組みが日本には整っているのです。そう考えると、コロナ禍を必ず乗り越えられると思うのです。先人はいくつもの感染症を乗り越えてきたのですから。

感染症予防の基本はなんといっても「マスク」「うがい」「手洗い」です。皆様お一人おひとりの行動に頼る部分が大きいです。お店や施設に入る時だけでなく出る時も消毒を励行することで、もっと予防効果が高くなるのではと考えています。また、コロナ禍の中で多くの皆様が歯を食いしばって生活をされています。将来に明るい光が見えるよう、区政の場で活動を続けてまいります。

新宿区議会議員 志田 雄一郎

令和2年度決算

貯金を切り崩すも実質単年度収支は黒字 コロナ禍での生活困窮者救済を要望

令和2年度の予算について、6年ぶりに区の貯金である財政調整基金を8億円取り崩すも実質単年度収支は8年連続の黒字となりました。また、区有財産の有効活用による基金積立などを積極的におこなった結果、各種基金残高も一定規模確保することができたことから、令和2年度の予算はおおむね適正に執行されたものと認め、すべてに賛成しました。

ただし、20年後には高齢者の急増や年少人口の横ばいにより、膨大な公共施設の改築需要が生まれます。さらに医療・介護、子育て、防災、雇用への対応のほか、当面続くであろう感染症防止対策のための予算を適切に確保するよう要望しました。

令和4年度予算要望

100項目の要望を提出 雇用・経済対策を中心に 暮らしを守る要望



令和4年度予算について、新型コロナウイルス感染症への対策だけでなく、雇用や経済を守り抜くことができるよう、あらゆる方策を講じることをメインに、100項目の要望を提出しました。来年度予算の審議は2月から始まります。

第4回定例会代表質問

子ども・高齢者・障害者 給食の無償化、避難所のバリアフリー化を

コロナ禍の中で減少が見込まれる特別区税について、歳出は増加する一方で、歳入は伸び悩むことが確実視されています。そのような厳しい財政環境の中でも区民サービスの質は維持するよう要望いたしました。

また、区の施策について(1)高齢者施策、(2)教育施策、(3)障害者施策の三点を質疑いたしました。

高齢者 特養ホームを計画的に整備せよ

市谷薬王寺の国有地、市ヶ谷商業高校跡地での特別養護老人ホームの整備が進んでいますが、引き続き計画的に整備するよう要望。区は市谷薬王寺の国有地は令和4年9月の開設を進めていること、市ヶ谷商業高校跡地は活用予定であるとしました。

学校 普通教室不足を解消せよ

タワーマンションの増加で都心への人口回帰が進んでいる中、四谷小や早稲田小では普通教室の不足が見込まれています。区は実地調査を行い、会議室を普通教室に改装するなどして対応するとのこと。また、学校給食は教育の一環と捉え、無償化へむけ関係機関へ働きかけるよう要望しました。

防災 バリアフリー化で誰もが活用できる避難所に

区内避難所の多くは小中学校。いまだにバリアフリー化が進んでいない学校も多くあります。これまでも要望し続け、区は「中長期修繕の際にバリアフリー化を進める」としています。

新型コロナワクチン **無料** 3回目接種始まる

詳しくは、新宿区ホームページ(右二次元コード)をご覧ください。

■新型コロナウィルスワクチン接種コールセンター
☎03-4333-8907 ☎0570-012-440
(ナビダイヤル)



3回目接種案内ページ

●3回目接種の対象者

2回目接種を受けた日から、原則8ヶ月以上経過した18歳以上の方
※国の方針等により、変更がある場合には、広報新宿後号、新宿区ホームページでお知らせしていきます。

●区内で接種を受けられる場所

●区の集団接種会場 ●区内の医療機関(個別接種)

※個別接種の実施医療機関・開始時期・予約方法等は決まり次第、広報新宿後号、新宿区ホームページでお知らせしていきます。

●接種券発送時期等

(★2回目摂取を受けた時期により、3回目摂取券の発送時期・摂取時期が異なります)

対象者 (2回目接種完了時期★)	接種券 発送時期	3回目 接種時期	使用する ワクチン
5月31日までの方 (主に医療に従事している方・高齢者施設に入所している方等)	11月26日	令和4年 12月～1月	2回目までの接種と同じワクチンで接種を受けていただく予定です。 ※国からの供給状況によって、今後変わる場合があります。
6月1日～30日の方 (主に75歳以上の方)	令和4年 1月11日(火) 予定	令和4年 2月予定	
7月1日～31日の方 (主に65歳以上の方)	令和4年 2月予定	令和4年 3月予定	
8月1日～31日の方 (全ての世代の方)	令和4年 3月予定	令和4年 4月予定	

●予約方法

2回目接種を令和3年6～8月に完了した65歳以上の方は、予約の必要はありません。
上記以外の方は、接種券が届き次第、電話・インターネットで予約してください。

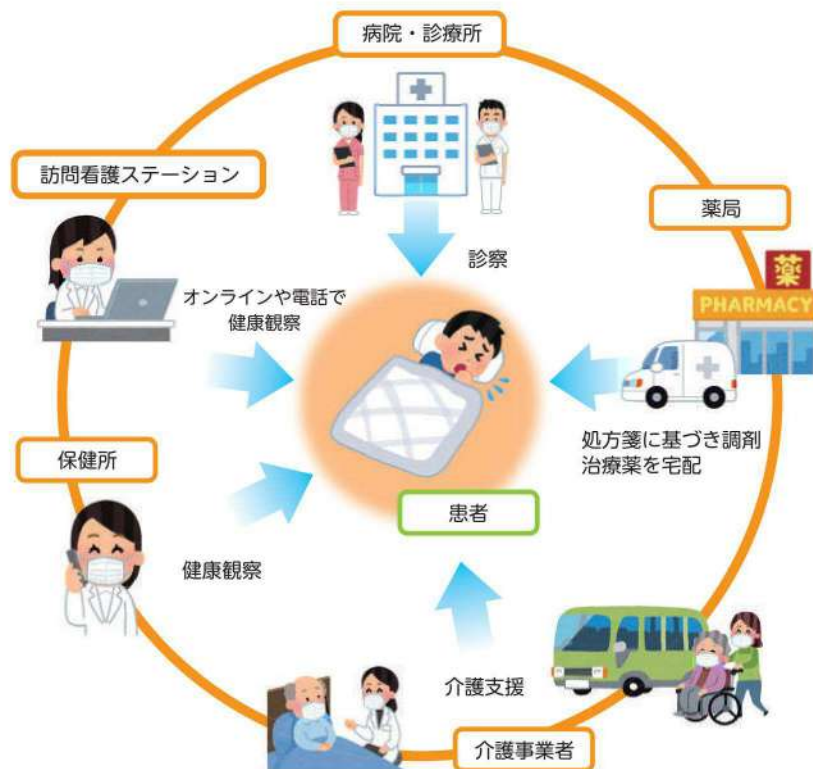
2回目接種を
令和3年6～8月に完了した65歳以上の方は
3回目接種の接種日時・会場を区が割り当てます

65歳以上の方(昭和32年4月1日以前に生まれた方)で2回目接種を令和3年6～8月に完了した方は、事前に接種日時と会場を割り当てます(送付する宛名用紙(右図)に印字)。

お近くの診療所等で接種を受ける場合や、印字している接種日時・会場では都合が合わない場合は、キャンセルや変更をお願いします。電話・インターネット(裏面記載)で手続きしてください。

宛名用紙(接種済証)

ここに接種日時・会場を印字しています



●区の新型コロナウイルス感染症対策

区民の命と暮らしを守る対応

1. 感染症拡大防止・医療提供体制強化

- (1) 新型コロナウイルスワクチン接種
- (2) 医療提供体制強化
- (3) 検査体制の確保
- (4) 普及啓発
- (5) 介護サービス事業所等に対する感染防止対策の強化

2. 生活への支援等

- (1) 子育て世帯への支援 ①子育て世帯生活支援特別給付金(ひとり親世帯分)
- (2) 保険料の減免
- (3) 高齢者のフレイル予防対策

3. 児童・生徒の学習環境整備等

- ICT教育の推進及び学習機会の保障
- (1) 1人1台タブレット端末を配布し学習に活用

4. 災害時の感染症対策

- (1) 非難の分散化と避難所の感染症対策
(民間宿泊施設との連携による避難先の確保)
- (2) コロナ禍における防災知識の普及啓発



区民の命と暮らしを守る対応

1. 中小事業者への支援

- (1) 商工業緊急資金の貸付(特例)融資あっせん
- (2) 店舗等家賃減額助成
- (3) おもてなし店舗支援
店舗の感染症拡大防止・業態転換・販売促進の支援
- (4) ビジネスアシスト新宿
中小企業者による専門家活用の支援
- (5) にぎわいあふれ環境にやさしい商店街支援
商店街の販促実施・感染症拡大防止策の支援
- (6) がんばろう！新宿応援キャンペーン
①キャッシュレス決済ポイント還元 ②プレミアム付商品券
③飲んで食べて当てよう！キャンペーン(11月実施中)
④新宿応援セール(令和4年1月実施予定)
(7) 飲食店のコロナ対策安心情報マップ

2. 文化・芸術復興支援

- 新宿区文化芸術復興支援事業
(区内の文化芸術施設の映像配信等に要する経費助成)



ご意見・ご要望は…新宿区議会議員

志田雄一郎

事務所 〒160-0007 新宿区荒木町8 カインドステージ四谷三丁目401
電話・FAX 03(3355)0546